

ご入学おめでとうございます！！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！春の柔らかい日差しの中、期待や緊張など、それぞれの思いを胸に新生活を迎えられていることと思います。そのような皆さんの門出を、私たちもとても喜ばしく思っています。

大学生活の楽しみの一つとして、多様な価値観を持つ人との新たな出会いがあるのではないのでしょうか。ダイバーシティ委員会は心理学部公認の委員会として、すべての人の個性が尊重され、安心して学校生活を送れるよう、多様性を広める活動を行っています。メンバーを随時募集しておりますので、ご興味のある方はぜひお力添えのほどよろしくお願いします！

映画鑑賞会を行いました！

ダイバーシティ委員会では、2月に映画観賞会を行い、「アナライズ・ミー」という映画を鑑賞しました。この映画は、マフィアのボスが精神的な悩みを抱え、精神科医のもとに通い始めることから物語が始まります。立場の異なる二人の関係を通して、ユーモラスに人間の弱さや本音が描かれています。

鑑賞した委員からは、「どんな人でも悩みや弱さを抱えているのだなと思った」、「トラウマに立ち向かう場面が感動した」などさまざまな感想が出て、映画のテーマについて深く考える良い機会になりました。興味のある方は、ぜひ一度ご鑑賞ください！

1月に交流会を行いました

昨年度末のテスト最終日に、心理学部生を対象とした交流会を開催しました。お越しいただいた方、誠にありがとうございました！

およそ10名の学生に加え、大学院生やOBの皆さん、先生方にもご参加いただきました。授業や進路について話したり、雑談しながらトランプをしたり、終始アットホームな雰囲気の中で交流が行われました。終了後には「進路に関して参考になった」「モヤモヤが晴れた」「温かい空間で楽しかった」といったお声をいただき、主催者として大変嬉しく思っております。委員会では、今後もこのようなつながりの機会を大切にしていきたいと思います。



当日の様子

コラム



書籍編

『自閉症の僕が跳びはねる理由』

— 東田直樹

自閉症の当事者である筆者が、五感や行動への考え方、日常での困り事などを、質問に答える形で詳しく紹介しています。

「普通とはなにか」「コミュニケーションはどのようなものか」といった人との関わりを改めて考えるきっかけにもなります。

わからないからこそ想像してみる、そんな視点を与えてくれる一冊です！

書籍編

『サード・キッチン』

— 白尾悠

アメリカの大学に留学した日本人学生が主人公の小説です。多様な人種や価値観が混ざりあう中で、自分自身の「無知」や「特権」に気づいていく過程が繊細に描かれています。同じ大学生として、共感できる部分が多いかもしれません。

ぜひ手に取ってみてください！

映像編

『空白』

この映画は、万引きを疑われた少女が逃走中に事故で亡くなる事件をきっかけに、遺族と店側の対立が深まっていく様子を描いた作品です。

それぞれが自分の正しさを信じる中で、真実や責任の所在が見えなくなっていく姿が印象的に描かれています。

ぜひ見てみてください！

映像編

『コーダあいのうた』

家族の中で一人だけ耳が聞こえる少女が、通訳として家族を支えながら自分の夢を追う物語です。単なる「感動もの」ではなく、障害のある家族と社会の境界線、そして「自立」とは何かをリアルに描いています。手話を通じたコミュニケーションの豊かさにも気づかされます。

ぜひ見てみてください！

メンバー随時募集中！

下記 URL から見学・参加の申し込みを受け付けています
みなさまのお申込みお待ちしております！

<https://forms.gle/8VDLRZsg3J2S3joYA>

